

平成21年度 製造業XML推進協議会 事業計画

製造業の活性化と競争力強化に資するため、企業の各設計・製造現場等の情報システム、企業基幹システム等とのインターフェースを視野に入れ、最新の情報連携技術である XML による情報連携の可能性を検証する。あわせて各分野間の統合／連携のため、XML 活用に係わる共通仕様の作成及び普及に関する活動を行う。

活動計画の概要は次の通りである。

なお、活動計画の具体的な内容を「平成21年度事業計画」(2/3頁～3/3頁)に示す。

1. 総会の開催：平成21年6月5日

2. 製造業に係わるXML連携の推進

- (1) 新仕様の公開と既存仕様の連携・・・運営委員会／技術ワーキンググループ（継続）
(会員が策定した XML 関連の仕様・アプリケーションなどを MfgX ウェブサイト上への掲載を推進。既存仕様の相互マッピング・連携・相互変換の検討)
- (2) 生産スケジューリング系と製造実行系、制御系を接続するインターフェースの作成
・・・ME S Xジョイントプロジェクト（継続）
- (3) 製造に係わる文書のXMLによる連携の推進
・・・製造業文書連携プロジェクト（継続）
- (4) 両プロジェクトの成果をベースに国際標準化活動の推進
・・・標準化WG（継続）

3. 製造業XMLの普及推進

- (1) 製造業XMLフォーラム、シンポジウム等の開催及び APSOM の APS サミットへの出展参加
・・・運営委員会／広報ワーキンググループ／
製造業文書連携プロジェクト／ME S Xジョイントプロジェクト
- (2) ものづくり関連の情報誌への投稿
- (3) XMLコンソーシアム等のXML関連団体との連携

4. 製造業XML推進協議会の将来像の検討（他団体との連携及び組織構成の検討を含む）

- ・・・運営委員会／広報ワーキンググループ

5. その他、設立趣意書に掲載している活動項目の具体化

- ・XML適用例の調査（Webサービスを含む）
- ・内外のXML活動に関する動向調査
- ・アプリケーション連携に必要な仕様の作成
- ・製造業全体で共通となる仕様の作成

6. 会員状況

- ・平成21年6月5日現在

正会員（15）、準会員（9）、個人会員（9）、学会会員（5）、協力団体（2）

なお、会員の詳細は「製造業XML推進協議会 会員一覧」参照。

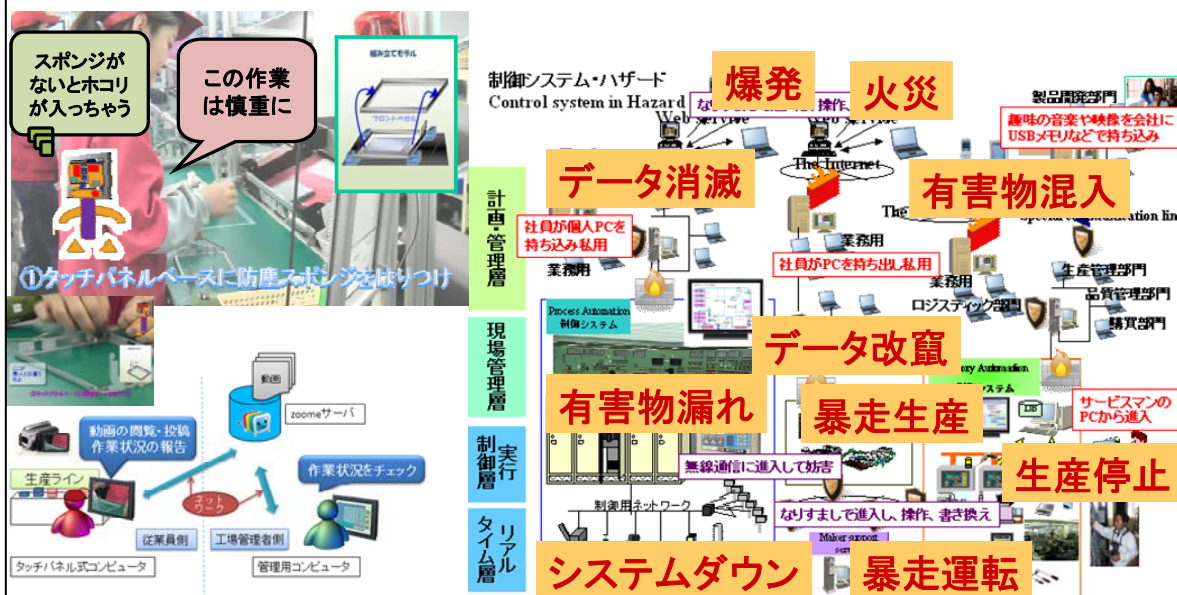
製造業XML推進協議会 文書連携プロジェクト

平成21年度事業計画

文書連携プロジェクト

平成21年度文書連携プロジェクト 事業計画

1. 文書連携のビデオ映像を取り込む技術
2. 文書連携から見た生産システム／制御システムのセキュリティ



MfgX MESXジョイントプロジェクト

平成21年度事業計画

MESXジョイントプロジェクト

平成21年度のMESX事業計画

■ 目標

- MESXプロトコルを実用レベルに仕上げる

■ 活動

- PSLXプラットフォームの採用
- リアルな工場モデルでのデモ
 - APSOMのAPSサミット(12月10日)に向けての準備
- マルチキャスト機能を黑板アーキテクチャで実現する
- プロトコルの精緻化
 - 参加／退出／同報プロトコル